

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年9月3日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年9月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【3号機燃料取扱設備のテンシルトラスホイスト5用の位置検出器コネクタ損傷について】 3号機燃料取扱設備の点検用足場を解体中の作業員が、足場板を別の作業員に手渡しする際、足場板をテンシルトラスホイスト5用の位置検出器コネクタに接触させ、コネクタを損傷。 コネクタを交換し、動作異常なしを確認済。	GⅢ	8月28日
2	【3号機燃料取扱設備のマストホイスト#1の位置検出器コネクタ接続ケーブル導通不良について】 上記1案件の位置検出器コネクタ修理完了後、システムをリセットした際、3号機燃料取扱設備のマストホイスト#1の位置検出器コネクタ接続ケーブルの導通不良を確認。 原因は次の2点と推定。 ①コネクタに接続されているケーブルの余長が不足し、機器動作時にケーブルに張力がかかったこと。 ②コネクタに若干の緩みがあったため、ケーブルの芯線にかかる振動が増幅されたこと。 コネクタを修理し、動作異常なしを確認済。	GⅢ	8月29日